

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1154 号	氏名	山藤 栄一郎
学位審査委員	主査	森内 浩幸	
	副査	平山 謙二	
	副査	柳原 克紀	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、本邦における代表的リケッチア感染症である日本紅斑熱とツツガムシ病の臨床的・疫学的特徴を明らかにし、両疾患の鑑別に有用な因子を特定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 両疾患の流行地域が重なる千葉県南房総地域における前向き調査と後向き調査を組み合わせ、血清学的及び分子生物学的検査により confirmed または probable と判定された症例についての臨床的特徴を統計解析するとともに、患者居住地の地理的クラスターの検出も試みたもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、両リケッチア疾患と非リケッチア疾患との相違点、また両リケッチア疾患の間での臨床的・疫学的類似点や相違点を明らかにすることができ、今後のリケッチア感染症研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はリケッチア感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			